

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	西ぼっぴこ〜んクラブ		
○保護者評価実施期間	令和7年12月8日		～ 令和8年1月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	令和8年1月16日		～ 令和8年2月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学校内をお借りしてサービス提供を行っているため、整った環境のなかで様々な活動プログラムを提供できること。	<ul style="list-style-type: none"> 活動場所は十分な広さがあり、一人ひとり必要なスペースを確保しやすい。 活動プログラムが固定化しないよう内容や遊具の設置を工夫できる。 体を存分に動かすことで発散活動(リフレッシュ)ができ、心の安定に繋げている。 	<ul style="list-style-type: none"> 完全な個別の空間はないが、広い空間を活かし安心できる環境を提供する。 お子様が主体となり、自発的に取り組めるようプログラムのさらなる充実を図る。
2	小学部・中学部・高等部と将来を見据えた個別支援計画の提供。	<ul style="list-style-type: none"> ライフステージに合わせ、将来必要となりそうな課題や活動を提案している。 学校で行っている作業実習や地域にある就労継続支援B型の作業内容を聞き、課題に取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりのニーズに合わせ、作業学習や個別課題を提案する。 将来を見据え、一つでも多く自立して行えることが増えるよう目指していく。
3	適切な職員数が配置されており、有資格者と長年の福祉サービス経験者がいること。	<ul style="list-style-type: none"> マンツーマン対応が必要なお子様には職員が必ず付き、適切な支援を行っている。 お子様一人ひとりにきめ細やかな対応ができるよう工夫している。また、状況に応じて職員が柔軟に対応できる体制を整えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 所内研修の回数を増やし、スキルアップの向上を目指す。 チームワークを大切にし、業務内容に偏りがでないようにする。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	戸外活動や地域交流の機会が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> 戸外活動を計画するには余裕のある時間設定が必要となるため、計画が立てづらい。 移動手段が徒歩になってしまうため、限られた活動内容になってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> 早上がりの機会を活かして、活動を計画していく。 地域のイベントなど情報を収集する。 最寄りの駅は徒歩圏内なので、電車で移動できる戸外活動を検討していく。
2	家族支援の不足 (保護者会、保護者同士の交流の機会など)	<ul style="list-style-type: none"> 保護者研修会は昨年11月に開催しましたが、アンケートの結果を見るとまだまだ不足しているように思う。 事業所内での保護者同士の交流の機会を検討したが、どのような形で開催したらよいか悩み、遠のいてしまった。 	<ul style="list-style-type: none"> 親子イベントや保護者同士の交流の場を設け、継続的に開催できるようにしていく。 事業所内でも親子イベント等を企画し、交流をもてる機会を設けられるよう検討していく。
3	各マニュアルは策定してあるものの周知徹底にまでは至っていない。	<ul style="list-style-type: none"> 研修や訓練についてはおたよりで発信していたが、まだまだ情報発信が弱いと感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員の研修の様子や避難訓練実施の様子を定期的なおたよりとは別に発行し、周知する。